

第2次『はんざん桃源郷の里』 まちづくり計画



飯野山と満開の桃畑

平成 26 年 4 月 1 日

飯山北地区コミュニティ推進協議会

はじめに

平成 17 年の平成の大合併により 1 市 2 町が合併し、「丸亀市」が誕生して、早や 9 年が経過しました。合併協議に基づき設立された飯山北地区コミュニティも 8 年が終わろうとしています。

この間、平成 21 年 4 月に、コミュニティ活動の基本となる「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画を作成し、本年度は見直しの年度を迎えております。

この 5 年間、コミュニティでは「人と人とのふれあいを大切に、子どもからお年寄りまで誰もがいきいきと楽しく暮らせるまち」づくりを目標に各種事業に取り組んでまいりました。

しかしながら、この 5 年間の社会情勢の変化は目まぐるしく、未曾有の被害をもたらした東日本大震災、地球温暖化による異常気象、政権交代による政策転換、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック開催の決定などがあり、私達の生活様式もこれまでとは違った視点で見直しが必要となっております。

この度の「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画見直しにあたっては、これらの社会情勢の変化や丸亀市総合計画の基本理念である「自然と歴史が調和し、人が輝く田園文化都市」を踏まえ、この地域のみなさんが「お互いが助け合いながらここに住んでよかった」と感じるような第 2 次まちづくり計画を作成いたしました。

地域のみなさんには、地域の活動基盤でありますコミュニティ活動にこれまで以上にご理解・ご協力をいただき、共にまちづくりに参加されますようお願い申し上げます。

平成 26 年 4 月

飯山北地区コミュニティ推進協議会
会 長 三 好 守

目 次

第1章 『はんざん桃源郷の里』の概況

- (1) 位置・地勢・気候
- (2) 沿革
- (3) 人口・世帯数などの推移
- (4) 産業
- (5) 公共施設
- (6) コミュニティ構成団体
- (7) 文化財
- (8) 自然景観
- (9) 年中行事

第2章 まちづくりの基本構想

- (1) 将来像
- (2) シンボルテーマ
- (3) まちづくりの基本的な考え方
- (4) まちづくりの目標

第3章 『はんざん桃源郷の里』まちづくり計画

- (1) 現状と課題
- (2) まちづくりの方向性
- (3) 計画期間
- (4) 計画の見直し
- (5) 実現するための事業

第1章 『はんざん桃源郷の里』の概況

(1) 位置・地勢・気候

本地域は、丸亀市の南東部に位置し、1年を通じて気候温暖でこれまで大きな災害は少ない。坂出市との境界には、高松自動車道の一部が通過しており、西に土器川、中央に大東川が流れ、北に飯野山、北東・東南部は小高い山が連なっている。



楠見地区から見た飯山北地域



特産品の桃

(2) 沿 革

明治23年の町村制施行により、東坂元村・川原村・真時村・西坂元村が合併して坂本村に、上法軍寺村・下法軍寺村・東小川村が合併して法勲寺村となった。

昭和31年に2つの村が合併し、飯山町となった。以来、ため池かんがいによる米作を主とした農業地域として発展した。高度経済成長期に入ると、番の州臨海工業地帯の発展に伴い民間主導型の宅地開発が町内各所で進み、ベッドタウンとして急発展を遂げた。

昭和55年頃の造船不況により人口増加は鈍ったが、瀬戸大橋架橋等により交通の利便性を背景に田園都市として発展してきた。バブル崩壊後、地方経済の低迷が続く中、平成の大合併が進められ、平成17年3月に近隣1市2町が合併し、丸亀市となった。合併協議に基づき、小学校区を単位として、旧坂本村の地域は飯山北地区コミュニティ推進協議会として設立された。

(3) 人口・世帯数などの推移

常住人口・世帯数

項目 年・月	人 口	男	女	世帯数
平成22年5月1日	10,780	5,244	5,536	3,862
平成23年5月1日	10,699	5,214	5,485	3,855
平成24年5月1日	10,769	5,257	5,512	3,911
平成25年5月1日	10,846	5,288	5,558	4,038
平成26年1月1日	10,896	5,309	5,587	4,103

年齢別人口（H26・1・1現在）

年齢別	男	女	合計	年齢別	男	女	合計
0～10	570	581	1,151	51～60	587	666	1,253
11～20	579	553	1,132	61～70	836	872	1,708
21～30	538	543	1,081	71～80	510	569	1,079
31～40	786	763	1,549	81～90	213	324	537
41～50	669	650	1,319	91以上	21	66	87

(4) 産業

本地域は、もともと純農村として米・麦作とともに桃の栽培が盛んで、現在桃の生産量は年間約500トンを出荷し、県下最大の生産地を誇っている。更に、糖度センサーによる共撰によりブランドとして人気を博し、販路も九州を中心に広めている。商業では全国ネットのコンビニ店舗も増加し、大型スーパーも進出している。製造業では縫製工場や印刷工場などがある。今後、国道438号新路線が完成すると産業構造の変化が訪れる可能性がある。

(5) 公共施設

地域内には、飯山市民総合センター・飯山北コミュニティセンター・飯山総合保健福祉センター・飯山図書館・飯山総合学習センター・飯山地域子育て支援センター・ドルカス乳児保育所・飯山北第一保育所・飯山北幼稚園・飯山北小学校・飯山中学校・飯山学校給食センター・中央学校給食センター・飯山総合運動公園・同体育館・飯山浄水場等がある。

(6) コミュニティの構成団体

コミュニティ組織図のとおり

(7) 文化財

有形文化財

神社

地区	文化財名
西坂元	坂元神社（祭神鷲住王）：山の越・王子社（祭神大直日神）：袖村・荒神社（祭神大国御魂神）：高柳
真時	湯殿社（祭神木花佐久屋比賣神）：上真時
川原	下坂神社（祭神大気都比賣神）：岸上・須賀神社、九頭龍神社（祭神須佐之男命）：岸上・楠神社（祭神熊野久須毘命）：坊・日吉神社（祭神大物主神）：下川原・池ノ神社（祭神弥都波能賣神）：楠見東・呉織神社（祭神天万栲幡千千比賣命）：楠見東
東坂元	一王子神社（祭神秋津根王）：北岡・喜田荒神社（祭神賣食命）：三の池・亀山神社（祭神息長帯比賣尊）：久米氏・金宮神社（祭神天香山命）：青石・三谷神社（祭神神櫛王）：三谷中・九頭龍神社（祭神須佐之男命）：三谷東・讃王神社（祭神讃留霊王）：姿谷

寺院

西光寺（本尊阿弥陀如来）：高柳・玄照寺（本尊阿弥陀如来）：楠見東・極楽寺（本尊三尊阿弥陀如来）：久保・正光寺（本尊阿弥陀如来）：青石・安楽寺（本尊不動明王）：三谷中・三谷寺（本尊十一面観音）：三谷中

古墳

十三塚古墳跡（楠見）・城山古墳群（楠見）・薬師山前方後円墳（三の池）・喜田荒神横穴式古墳跡（三の池）・三の池円墳跡（三の池）地獄谷横穴式古墳跡（三谷）・丸山組み合わせ石棺跡（三谷）・丸山横穴式古墳跡（三谷）

天然記念物

三谷寺（モミの木）・王子神社（センダン）・下坂神社（クスノキ）・呉織神社（神社雑木）

無形民俗文化財

坂本念仏踊り（平成7・9・29：県指定無形民俗文化財）

飯山町内で、亀山神社ほか七社・滝宮神社・滝宮天満宮に奉納する念仏踊りの一つである。仁和4年（888年）夏の干ばつの時、国司菅原道真が城山の神に七日七夜断食して雨乞い祈願したところ、三日三晩にわたって雨が降り、農民たちは滝宮の菅原公邸に集まり踊り舞った。これが念仏踊りの始まりで、現在は8月25日に踊りを奉納している。

芸能

獅子組（三谷獅子組・久米氏獅子組・日吉獅子組・楠見獅子組・西坂元獅子組・高柳獅子組）久保やっこ連・下坂やっこ連

（8）自然景観

飯野山

飯野山は讃岐富士と呼ばれ、新日本100名山に選ばれている。南面には飯山側登山口があり、春には桜と桃の花の共演が見られる。地域の中央には大東川が流れ、讃岐富士から見渡すと田園地帯とベッドタウンがうまく調和したのどかな風景が広がっている。

城山

城山には7世紀大和防備の朝鮮式山城が築かれ、山頂には礎石と見られる石罫が点在している。標高462.3メートル、一等三角点では360度の眺望が楽しめる。西方に讃岐富士の雄姿、更に善通寺五岳山、象頭山等、南には阿讃の山脈が一

望できる。眼下に高松自動道、府中湖、晴天には高松空港も目にできる。東方に県都の高松市街も目に映る。山頂への車道では、瀬戸大橋の雄大なパノラマを一望できる。

(9) 年中行事

- ◆正月の準備：餅搗き、大晦日
- ◆正月：元旦、初夢、初売り（1月2日）、なぬか日（1月7日）、かいつり（1月14日）、とんどの日（1月15日）、藪入り正月と盆の16日、42・33の厄払い、正月礼
- ◆春の行事：たるづいたち、節分、ひな祭り、百百手祭り、社日、お彼岸、水口祭、端午の節句
- ◆夏の行事：さんばい・田休み、大祓、虫送り、半夏生、17夜、七夕節句、土用・丑の日、雨乞い
- ◆盆の行事：お盆、百万遍の数珠くり、盆踊り、お施餓鬼と地藏盆、灯籠流し
- ◆秋の行事：うま節句、秋の大祭、おかいれ、にわあげ、いのこ
- ◆冬の行事：報恩講、冬至、お歳暮



亀山神社



三谷寺



坂本念仏踊り



王子神社 センダン

第2章 まちづくりの基本構想

- (1) 将来像 人と自然が調和した住みたくなるまち
- (2) シンボルテーマ はんざん桃源郷の里
- (3) まちづくりの基本的な考え方

まちづくりの目標は、すべての住民が自らの意思に基づいて幸せに暮らせる社会の実現にあります。人々が幸せであるためには、まず心身の健康が大前提となり、その上に経済的・物質的な豊かさ、精神的な充足と安らぎが必要です。そのためには、地域のすべての住民が健康で心うるおう生活を営むことができる生活環境整備が必要となります。

これまで行政主導で進められてきたまちづくりの現状と課題を踏まえ、本コミュニティとして今後5年間に取り組むことのできる目標を次のように考えています。

- (4) まちづくりの目標

自然と調和のとれたまちづくり

私たちのまちの基盤づくりはまだ完備された状況ではないので、継続中の道路整備、河川整備、土地利用の見直し、情報通信網の整備、自然と調和のとれた美しい景観づくりなどについて住民の意見を集約しながら関係機関への意見・要望活動に取り組めます。

健やかに暮らせるまちづくり

健康で安心して暮らせる質の高い生活環境の創出に力を入れるとともに、住民の視線に立った利便性の向上、サービスの充実等が大切です。日常生活を良好に営むことのできる自然環境の保全整備、生活や産業の源である水環境整備、自然への負荷の少ない生活環境整備、住民の生命・財産を守る防災・防犯・救急体制の整備などに取り組めます。

心豊かな人をはぐくむまちづくり

高齢化社会の到来による自由時間の増大、生活様式や時代の急激な変化の中において、みんなが心豊かで時代に見合った生活を送るためには人と人との交流機会や生涯学習機会の提供、心身の健康づくりの場が大切です。

“いつでも、どこでも、誰でも” 学びや健康づくりのできる環境づくりに取り組みます。

みんなで助け合うまちづくり

すべての住民が自らの意思に基づいて幸福に暮らせる社会づくりのためには、お互いが共助の精神をはぐくむことが重要です。老人世帯や子どもたちの安全が脅かされていることから地域でお年寄りや子ども達を見守り、安心・安全に暮らせる思いやりに満ちた地域づくりに取り組みます。

みんなが参加するまちづくり

幸福な暮らしが送れる社会を実現するためには、これまでのように全て行政任せでは問題解決にはなりません。住民自らが行うこと（自助）・共に助け合いながら行うこと（共助）・行政の行うこと（公助）をそれぞれが役割分担し、自分たちのまちづくりに積極的に参加する意識の啓発と実践活動ができるような体制づくりに取り組みます。



体育祭



桃の里ウオーク

第3章 『はんざん桃源郷の里』まちづくり計画

(1) 現状と課題

本地域は、旧飯山町の総合計画にそって、「緑と住まいが奏でるのびやかなまち」として各種事業が進められてきた経過があり、ハード面においては、圃場整備、道路整備、公共施設整備、上下水道整備等がほぼ整備されている。今後の大型事業として、大東川整備、国道438号再構築事業が順次進められているが、住民の安全・安心の確保のためには早期完成が望まれる。

地域内には、保育所、子育て支援センターがあり、待機児童もなく保育環境に恵まれている。医療保健面では、各種医療機関があり充実している。文教施設面では幼稚園、小学校、中学校がある。幼稚園は南北統合の仮称「飯山幼稚園」が地区内に、平成27年4月開園予定で進められている。

小学校は、すでに児童増減対策事業や耐震・危険改築事業が進められている。公共施設には飯山市民総合センターや本コミュニティセンター、飯山図書館及び総合学習センター、総合保健福祉センター、飯山総合運動公園体育館等があり、地域住民の生活環境は良好と考えられる。今後はこれらの施設をいかに有効利用していくかが課題となっている。

丸亀市が重要課題として進めている安全・安心の面では今後予想される南海トラフ巨大地震等の災害発生の備えとして、土砂災害危険地域や避難箇所の整備はもとより、災害発生時における避難指示、誘導方法を確立するとともに、住民に対する「自らの生命は自ら守る」という啓発事業が必要である。

また、高度経済成長期から進行した核家族化や少子化の社会現象から、人間関係が希薄となり、地域住民の共助の精神が薄れてきている。今後は、高齢者世帯やひとり暮らし世帯に対する各種福祉活動が必要である。

生きがいを持ち、豊かな人生を送るために必要な生涯学習の推進については“いつでも、どこでも、誰でも”学習に取り組めるよう飯山総合学習センター、飯山北コミュニティセンター、飯山図書館などの施設が完備されており、住民の学習意欲を今後どのように高めていくかが課題となっている。

地球温暖化問題や超少子・高齢化問題は、今後、地域住民が一体となって取り組まなければならない課題である。

(2) まちづくりの方向性

飯山北地区の将来像「人と自然が調和した住みたくなるまち」を目ざして、次の5つの目標を設定する。

- 自然と調和のとれたまちづくり
- 健やかに暮らせるまちづくり
- 心豊かな人をはぐくむまちづくり
- みんなで助け合うまちづくり
- みんなが参加するまちづくり

(3) 計画期間

本計画の有効期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間とする。

(4) 計画の見直し

本計画は、毎年度末の各部会及び総会において見直し、修正を加えてより良いものとする。



夏祭り



文化祭

(5) まちづくりの方向性を実現するための事業

自然と調和のとれたまちづくり	
基本方針	土地利用計画に対するパブリックコメントの利用により美しい自然環境と都市機能の両立した生活環境整備を要望する。 幹線道路整備、河川改修、緑地保全や情報網の整備、土砂災害防止等、美しい景観づくりなどに取り組みます。
(施策の概要)	
地域内インフラ整備事業 地域内環境美化事業 土砂災害防止地域の整備	
(活動内容)	
各種計画パブリックコメント検討委員会の設置 自治会内一斉清掃活動 飯野山登山道清掃活動 水辺の楽校清掃活動 大束川の清掃活動 季節の花づくり運動 土砂災害地域啓発	

まちづくりの方向性を実現するための事業

健やかに暮らせるまちづくり	
基本方針	健康で安全・安心に暮らせる質の高い生活環境の創出に力を入れるとともに、住民の視線にたった利便性の向上、サービスの充実等が大切です。あらゆる人間生活を良好に営むことのできる自然環境の保全整備、生活の源である水環境整備、環境負荷の少ない生活環境整備、住民の生命・財産を守る防災・救急体制の整備などに取り組みます。
<p>(施策の概要)</p> <p>地域保健推進事業 食の安全教育推進事業 生活環境保全事業 環境意識啓発事業 地域内危険箇所調査研究事業 防災意識啓発事業 非常時防災対策事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>保健福祉研修会 食と健康講演会 料理教室 ぼかし作りの推進 マイ買い物袋推進運動 マイ箸推進運動 環境講演会の開催 防災マップの作成 防災資機材の整備 防災作品の募集 防災展示・研修会・出前講座の開催 防災訓練 婦人防火クラブ活動 家具転倒防止金具取り付け普及 保・幼・小・中連携避難訓練</p>	

まちづくりの方向性を実現するための事業

心豊かな人をはぐくむまちづくり	
基本方針	<p>高齢化社会の到来による自由時間の増大、生活様式や時代の急激な変化の中において、みんなが心豊かで時代性に見合った生活を送るためには、人と人との交流機会や生涯学習機会の提供、心身の健康づくりの場が大切です。</p> <p>“いつでも、どこでも、誰でも” 学びや健康づくりのできる環境づくりに取り組みます。</p>
<p>(施策の概要)</p> <p>健康づくり推進事業 競技力向上事業 地域内ふれあい文化事業 文化財保護事業 伝統文化継承事業 生涯学習推進事業 文化意識啓発事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>健康ウォーク ラジオ体操 飯山北地区体育祭 親子ふれあいウォーク はんざん桃源郷まつり 文化財探訪 国際文化交流活動 坂本念仏踊り・浦安の舞保存 各種生涯学習講座の推進 いきいき講座「はんざん桃源郷学習講座」の開催 人権研修会参加 スポーツ教室の開催 「飯山音頭」普及活動</p>	

まちづくりの方向性を実現するための事業

みんなで助け合うまちづくり	
基本方針	すべての住人が自らの意思に基づいて幸福に暮らせる社会づくりのためには、お互いが共助の精神をはぐくむことが必要です。高齢者世帯や子どもの安全が脅かされないように地域でお年寄りや子ども達を守り、安全・安心に暮らせる思いやりに満ちた地域づくりに取り組みます。
<p>(施策の概要)</p> <p>高齢者生きがい対策事業 子ども・青少年安全対策事業 子ども自然体験事業 子どもボランティア支援事業 各種ボランティア活動支援事業</p> <p>(活動内容)</p> <p>各種福祉関係団体との連携事業 「かがやきくらぶ桃の里」の運営 ひとり暮らしふれあいの集い開催 高齢者訪問 敬老会の開催 チャリティバザーの開催 ひとり暮らし世帯の支援 みんなで子どもを守る地域活動 花の栽培 親子交流ゲーム大会 伝承遊び キッズセーフティマップの活用 通学路点検 安全パトロール あいさつ運動 交通安全教室・キャンペーンの開催 わんぱく楽校の開催 ネイチャークラフト教室の開催 学校支援ボランティア活動</p>	

まちづくりの方向性を実現するための事業

みんなが参加するまちづくり	
基本方針	幸福な暮らしが送れる社会を実現するためには、これまでのように全て行政任せでは問題解決にはなりません。自分で行うこと・共に助け合いながら行うこと・行政の行うことをそれぞれが役割分担し、自分たちのまちづくりに参加する意識の啓発と実践活動ができるよう取り組みます。
(施策の概要)	
コミュニティ意識啓発事業 地域生活課題研究事業 地域内情報の発信事業	
(活動内容)	
コミュニティだより・コミュニティ通信の発行 地域生活課題検討委員会の活動 「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画の見直し 飯山北コミュニティホームページの充実 自治会加入促進運動 飯山北コミュニティセンターパンフレット作成 コミュニティ・地域活動啓発イベント事業	

飯山北地区コミュニティ推進協議会

総 会

推進協議会役員会
(各種団体代表・連合自治会代表等)

顧問・役員会

生活課題検討委員会

広報委員会

部 会

総 務 部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・地域安全推進員
 - ・民生委員・児童委員
 - ・老人クラブ
 - ・商工会
 - ・子ども会
 - ・婦人会
 - ・身体障害者協会
 - ・公募
 - ・地区住民
 - ・福祉ママ

- (活動内容)
- ・まちづくり課題検討委員会
 - ・コミュニティだより発行
 - ・敬老会
 - ・はんざん桃源郷まつり
 - ・指定管理事業
 - ・自治会加入促進
 - ・ホームページ

保健福祉部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・民生委員・児童委員
 - ・老人クラブ
 - ・母子愛育班
 - ・福祉ママ
 - ・食生活改善推進協議会
 - ・ボランティア連絡協議会
 - ・婦人会
 - ・身体障害者協会
 - ・地区住民
 - ・福祉ママ
 - ・公募

- (活動内容)
- ・福祉活動
 - ・保健活動
 - ・食の安全活動
 - ・高齢者対策事業

生活環境部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・地域安全推進員
 - ・民生委員・児童委員
 - ・交通安全母の会
 - ・老人クラブ
 - ・生活研究グループ連絡協議会
 - ・婦人会
 - ・保護司
 - ・人権擁護委員
 - ・地区住民
 - ・公募
 - ・福祉ママ

- (活動内容)
- ・地域美化運動
 - ・環境保全活動
 - ・環境意識啓発活動
 - ・資源リサイクル事業

文 化 部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・民生委員・児童委員
 - ・老人クラブ
 - ・子ども会
 - ・婦人会
 - ・身体障害者協会
 - ・学識経験者
 - ・地区住民
 - ・公募
 - ・福祉ママ

- (活動内容)
- ・教育文化活動
 - ・地域伝統文化の伝承
 - ・生涯学習推進事業
 - ・人権啓発事業
 - ・文化講演会
 - ・地域文化財研究
 - ・いきいき学習講座
 - ・国際文化交流事業

体 育 部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・老人クラブ
 - ・婦人会
 - ・スポーツクラブ飯山
 - ・体育推進委員
 - ・体育協会
 - ・民生委員・児童委員
 - ・地区住民
 - ・公募
 - ・福祉ママ

- (活動内容)
- ・飯山北地区体育祭
 - ・市民体育祭
 - ・健康づくり
 - ・競技力向上事業
 - ・健康ウォーク

自主防災部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・消防団OB会
 - ・老人クラブ
 - ・婦人会
 - ・地区住民
 - ・民生委員・児童委員
 - ・婦人防火クラブ
 - ・公募
 - ・福祉ママ

- (活動内容)
- ・防災意識啓発事業
 - ・防災活動
 - ・防災訓練
 - ・防災出前講座
 - ・危険個所の点検
 - ・婦人防火活動
 - ・避難訓練

青少年健全育成部

- (構成団体)
- ・自治会長
 - ・地域安全推進員
 - ・民生委員・児童委員
 - ・交通安全母の会
 - ・飯山交番
 - ・老人クラブ
 - ・PTA(小学校)
(中学校)
(保育所・幼稚園)
 - ・子ども会
 - ・婦人会
 - ・子育て支援センター
 - ・地区住民
 - ・公募
 - ・福祉ママ
 - ・子育てボランティア

- (活動内容)
- ・青少年育成活動
 - ・防犯活動
 - ・学校安全パトロール
 - ・放課後子ども教室

第2次「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画策定検討委員

役 職	氏 名	所 属	備 考
会 長	三好 守	コミュニティ会長	
副会長	近石清一郎	コミュニティ副会長	
副会長	上田 久	コミュニティ副会長	
書 記	三谷英子	コミュニティ会計	
委 員	多田俊夫	コミュニティ監査	
委 員	吉井精一	コミュニティ監査	
委 員	大林浅吉	コミュニティ顧問	
委 員	小林文雄	コミュニティ顧問	
委 員	赤熊一弘	コミュニティ顧問	
委 員	原田伸二	総務部会長	
委 員	吉井正人	保健福祉部会長	
委 員	井上美智子	生活環境部会長	
委 員	水原進一	文化部会長	
委 員	杉林利夫	体育部会長	
委 員	建石照夫	自主防災部会長	
委 員	山下千代美	広報委員長	
委 員	山本久美子	学識経験者	
委 員	高木貞雄	学識経験者	
委 員	徳丸 築	学識経験者	
委 員	青井 静	学識経験者	
事務局	逢坂憲生		

(順不同)



第2次「はんざん桃源郷の里」まちづくり計画

平成26年4月1日発行
 発行 飯山北地区コミュニティ推進協議会
 丸亀市飯山町川原 1112 番地 5
 〒762-0082 TEL(0877)98-6595
 編集 第2次まちづくり計画策定委員会
 印刷 飯山北地区コミュニティ推進協議会